

翔陽中学校開校（平成 23.4.1）後の状況

- 平成 24.2. 東地区中学校（翔陽中学校（旧帯広第三・旧帯広第六中学校））  
統合の統合状況等に関するアンケート調査実施  
生徒、保護者、教職員に無記名アンケート
  
- 平成 25.2 統合に関する学校へのヒアリングの実施
  
- 平成 26.2 統合に関する学校へのヒアリングの実施

## 東地区中学校統合の統合状況等に関するアンケート調査結果について

～翔陽中学校（旧帯広第三・旧帯広第六中学校）～

帯広市教育委員会は、少子化の進展による将来的な児童生徒数の減少に対応し、充実した教育環境を確保するため、「帯広市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」（平成18年9月20日決定）を策定しました。

基本方針では、一定の児童生徒数や学級数を確保し、活力ある学校づくりを目指すため、小中学校配置の将来方向と適正配置の実施時期を示した「帯広市立小中学校適正配置計画」を定めています。

この配置計画に基づき、平成19年9月に「東地区中学校適正配置実施計画」を決定し、帯広第三中学校と帯広第六中学校を閉校、平成23年4月1日に帯広第三中学校校舎を活用した統合新校「翔陽中学校」を開校いたしました。

帯広市教育委員会では、開校した「翔陽中学校」の統合後の1年を振り返り、子どもたちの様子や教育活動の状況を把握し、今後の学校運営や学校適正配置の取り組みの参考とするためアンケート調査を実施しました。

### 調査の概要

- ・ 調査対象 平成23年度翔陽中学校の全生徒（548名）  
保護者（501名）  
教職員（37名）
- ・ 調査方法 無記名アンケート方式、学校を通じて調査票を配布・回収
- ・ 調査期間 平成24年2月17日（金）～ 2月24日（金）

#### ・ 回収数、回収率

		配布数	回収数	回収率
生徒		548	404	73.7%
内 訳	中学1年生	195	170	87.2%
	中学2年生	177	141	79.7%
	中学3年生	176	93	52.8%
保護者		501	286	57.1%
教職員		37	21	56.8%
合計		1,086	711	65.5%

平成24年7月  
帯広市教育委員会

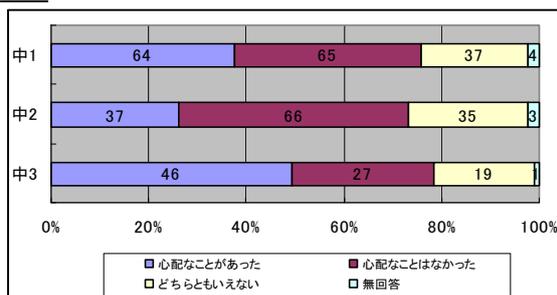
## 生徒アンケート結果

### Q 入学する（統合する）前に心配なことがありましたか

（グラフ内の数値は回答数）

1年生と3年生が「心配なことがあった」と答えた割合が高くなっています。特に小規模小学校（東小、帯小）出身者や学校を移動する六中出身者に「心配なことがあった」と答えた割合が高くなっています。

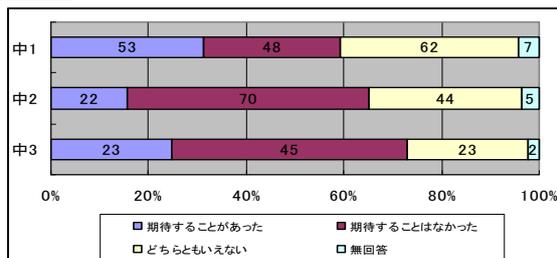
各学年を通して「心配なこと」の意見として友人関係が最も多く挙げられています。



### Q 入学する（統合する）前に期待することがありましたか

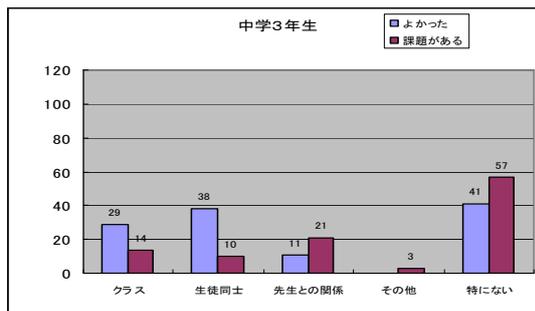
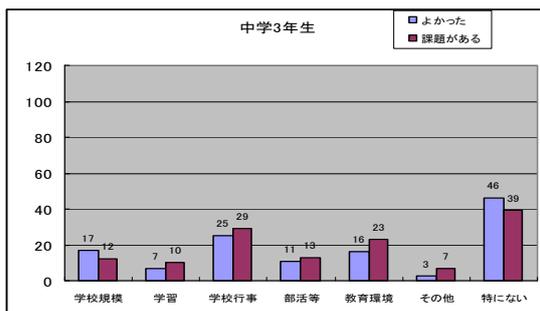
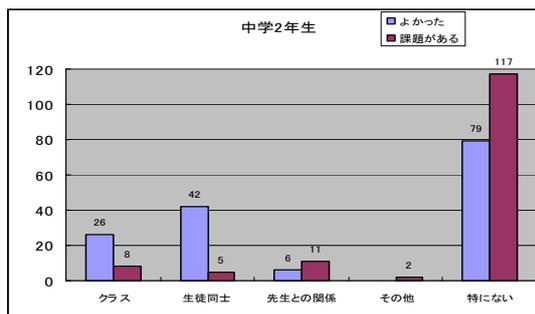
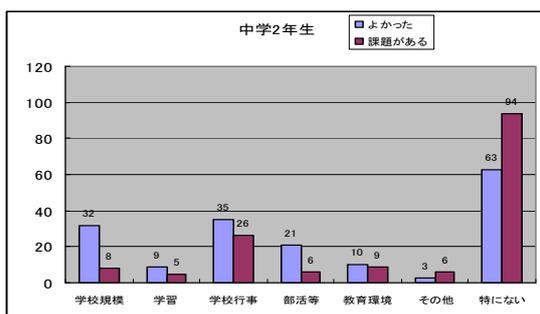
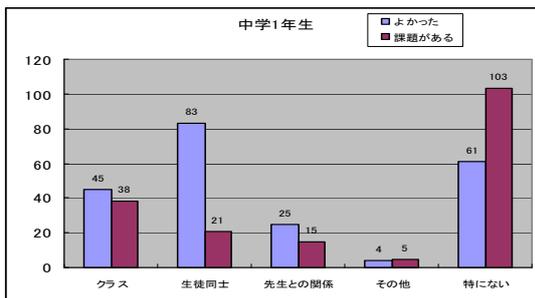
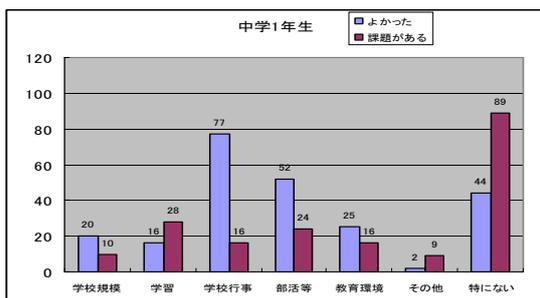
2年生、3年生は「期待することはなかった」と答えた割合が一番高くなっています。特に六中出身者は50%を超えています。

「期待すること」の意見として友人関係や部活動、環境変化などが挙げられています。



### Q 入学して（統合して）よかったと思うことや課題があると思うことは何ですか

統合して「良かった」と思うことは、各学年とも「学校規模」、「学校行事」、「生徒同士の関係」とする回答数が多くなっています。「課題がある」と思うことは「特にない」とする回答数が多くなっています。



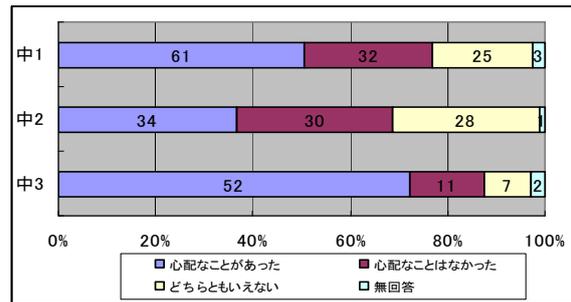
## 保護者アンケート結果

### Q 入学する（統合する）前に心配なことがありましたか

（グラフ内の数値は回答数）

保護者全体で「心配なことがあった」と答えた割合が51.4%となっています。特に3年生保護者と1年生保護者のうち小規模小学校出身保護者の「心配なことがあった」と答えた割合が高くなっています。

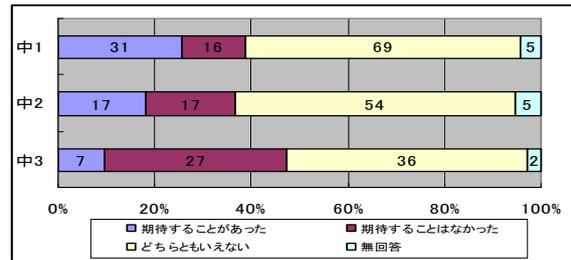
「心配なこと」の意見として、新しい学校になじめるか、人数が増えるなど環境が変わることへの不安が多く挙げられています。



### Q 入学する（統合する）前に期待することがありましたか

「どちらともいえない」と答える割合がいずれの学年も50%を超えています。1年生保護者の「期待することがあった」、3年生保護者の「期待することはなかった」と答える割合も高くなっています。

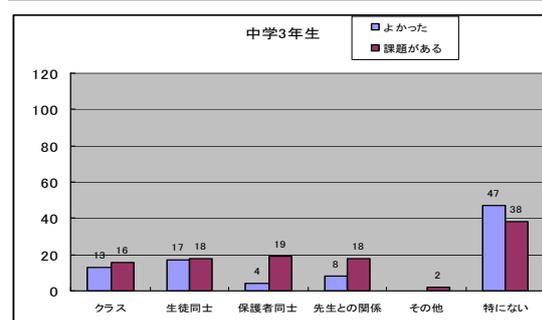
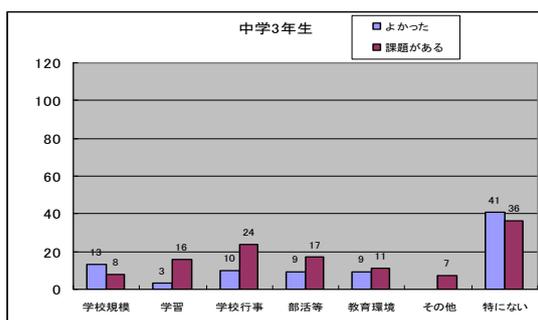
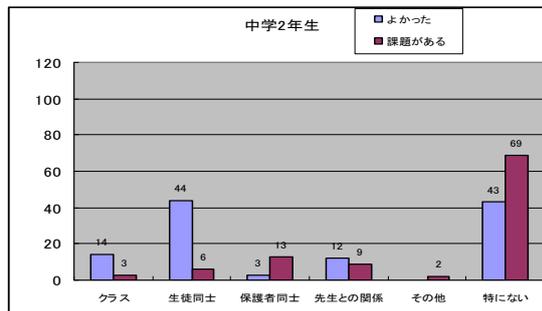
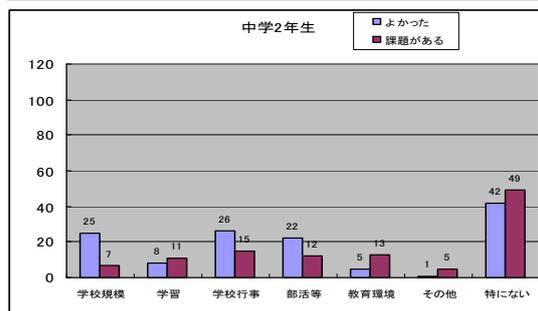
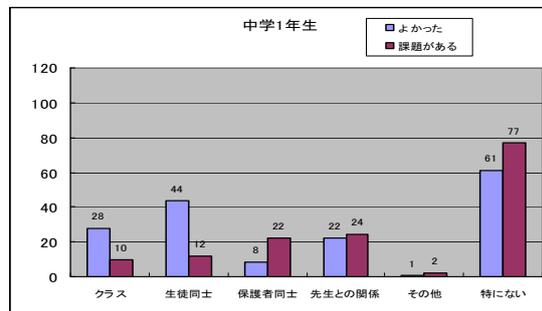
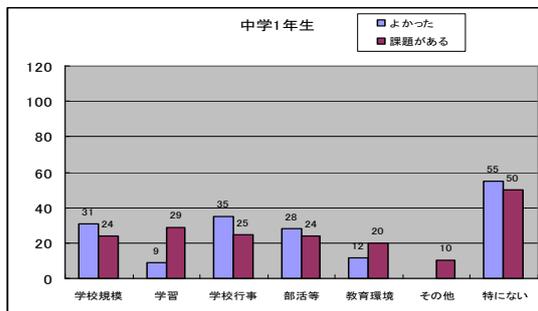
「期待すること」の意見として、友人関係や部活動に関する意見が寄せられています。



### Q 入学して（統合して）よかったと思うことや課題があると思うことは何ですか

統合して「よかった」、「課題がある」と思うことは「特にない」とする回答数が多くなっています。「生徒同士の関係」は「よかった」が、「保護者同士の関係」「教職員との関係」については「課題がある」とする回答が多くなっています。

主な意見では、人数が増えることによる課題解消に向けた意見が多く挙げられています。

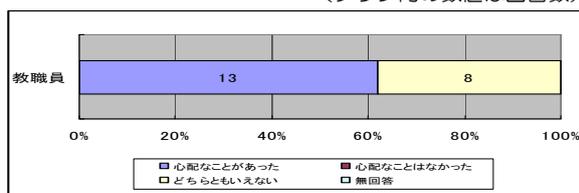


## 教職員アンケート結果概要

### Q 統合する前に心配なことがありましたか

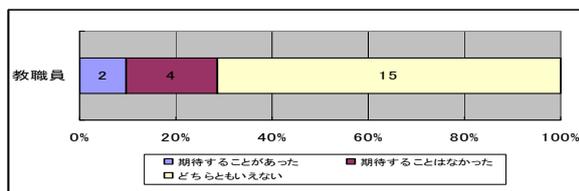
(グラフ内の数値は回答数)

「心配なことがあった」と答えた割合が61.9%となっています。「心配なこと」の意見として環境変化による生徒、地域、保護者との関係が挙げられています。



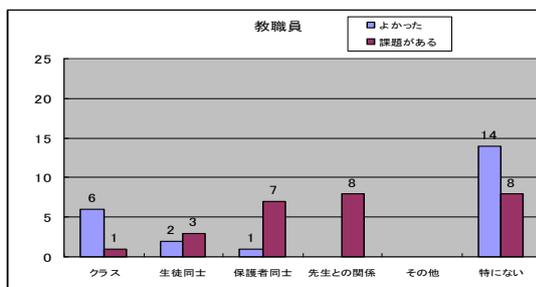
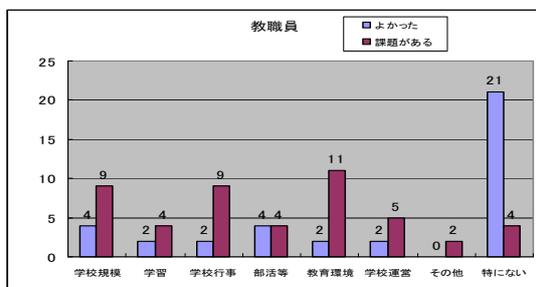
### Q 統合する前に期待することがありましたか

「どちらともいえない」と回答する割合が71.4%となっています。三中出身教職員は、「期待することはなかった」と「どちらともいえない」に二分されています。



### Q 統合してよかったと思うことや課題があると思うことは何ですか

「教育環境」や「教職員同士の関係」について「課題がある」とする回答数が多くなっており、複数校から集まり新たな方針作りから進めていることから、話し合う時間の確保や指導方針の徹底など統合に向けた環境整備の難しさが理由として挙げられています。



## 自由意見（抜粋）

- 統合について (58件)
  - ・統合は仕方がないと思うが、統合前に生徒や保護者、地域の声をできるだけ聞いてほしい。(生徒)
  - ・翔陽中のカラーは、今の1年生が3年生になったときにできるのではないか。(保護者)
  - ・統合はどんなに用意周到でも抜け落ちや不平不満が出てくるので、できる限り条件を整える必要がある。(教職員)
- 学校環境について (38件)
  - ・統合によって学校までの距離が遠くなった人が多くいるのが難点。(生徒)
  - ・子どもの人数のわりに部活動の選択肢が少ない。(保護者)
  - ・統合時の教職員の配置は早めに発表し、話し合いを持ってスタートするべき。(教職員)
- 人間関係について (12件)
  - ・統合前に2校間の交流が少なかった。(生徒)
  - ・2・3年生には出身校間の隔たりが感じられるが、1年目は仕方がないと思う。(保護者)
- 学校施設について (10件)
  - ・学校は狭くなり、自動ドアは無駄だと思う。(生徒)
  - ・統合を決めたからには世帯数の増加に併せて駐車場の確保をしておくべきだった。(保護者)
- 規模拡大について (9件)
  - ・最初は戸惑いが多いので各クラスの人数は少な目がいいと思う。(生徒)
  - ・統合は仕方がないが、小さな学校のほうが子どもたちに目が行き届き、保護者同士の顔が覚えられる。(保護者)
- その他 (22件)
  - ・子どもたちには順応性があるので保護者をもっと信用してあげるべきだ。(保護者)
  - ・もっと幅広く意見を聞いてすすめるべき。(保護者)

## アンケート全体を通して

- 生徒アンケートでは、統合前の不安感について、「心配なことがあった」と「心配なことはなかった」とがいずれも4割近くとなっており、意見が二分していることがうかがえます。  
「心配なことがあった」要因として1年生の中学校進学や3年生の受験などが考えられますが、主な意見から、学校統合による規模拡大や環境変化によって「友達ができるか」などの人間関係に関する心配が学年を問わず多くなっていることから、不安を抱えていたこともうかがえます。
- また、学校統合への期待感を見ると、2年生と3年生では「期待することはなかった」が5割近くを占め、特に学校を移動する六中出身者にその傾向が見られます。統合して「良かった」と思うことに「学校規模」と「学校行事」と回答する割合が高くなっており、「課題がある」と思うことも「特にない」と回答する割合が高く、統合によって生徒が増えたことを肯定的に捉えられていることがうかがえます。
- さらに、自由意見からも、「3年生でのクラス替え」や「通学が遠くなる」など統合に否定的な意見も見られましたが、統合したことによって、「友人関係が広がった」、「学校行事が楽しくなった」、「クラブ活動が活性化した」など肯定的に捉えた意見が多く寄せられています。
- 保護者アンケートでは、生徒よりも不安感が高く、期待感が低い傾向にあります。特に3年生保護者と小規模小学校出身保護者に「心配なことがあった」と回答する割合が非常に高くなっており、生徒同様に受験や中学校への進学による不安感の要因であることがうかがえます。
- また、「課題がある」としたことに「保護者同士の関係」や「教職員との関係」と回答する割合が高くなっていることから、統合によって人数が増えることによる人間関係の難しさがうかがえます。
- さらに、自由意見では、校区が広がり家庭数が増えたことによる駐車場の確保や施設整備について厳しい意見が寄せられています。新しい学校に対する期待や学校づくりへの提言なども多く寄せられています。
- 教職員アンケートでは、「心配なことがあった」と回答する割合が6割を超えており、主な意見からも環境変化による生徒、地域、保護者との関係に不安を抱いていたことがうかがえます。
- また、「教職員同士の関係」について「課題がある」と回答した割合が高くなっており、複数校から集まり新たな方針作りから進めていることから、話し合う時間の確保や指導方針の徹底など統合に向けた環境整備の難しさについての意見が寄せられています。
- さらに、自由意見では、より良い学校づくりのため連携や学校基盤の重要性についてなど、今後の統廃合に向けた意見が寄せられています。
- 旧第三中学校関係者から、統合への準備作業や校舎増改築など工事騒音など長期にわたって様々な制約や影響を受けていた意見が寄せられています。
- 旧第六中学校関係者から、通学路の変更、吸収される意識や母校がなくなる寂しさが強く感じられる意見が寄せられています。



翔陽中学校関係者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。

このアンケートは1年を経過した感想が中心となっています。今回アンケートを通して寄せられた意見や統合による心情変化、課題、改善点などとともに、今後も翔陽中学校の歴史づくりや新たな校風づくりに頑張っている在校生や教職員を対象に継続した調査を実施し、学校運営や適正配置に役立ててまいります。

(アンケートに関するお問合せ先)

帯広市教育委員会 学校教育部 企画総務課

住所 〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1 電話 0155-65-4202 FAX0155-23-0161

Email : [school\\_general@city.obihiro.hokkaido.jp](mailto:school_general@city.obihiro.hokkaido.jp)

HP <http://www.city.obihiro.hokkaido.jp>

## 翔陽中学校 統合に関する学校へのヒアリングについて

日時 ～ 平成 26 年 2 月 26 日 (水)

### ● 聞き取り項目及び学校側からの回答は別紙のとおり

### ● その他当日聞き取りの内容は以下のとおり (別紙回答と重複する部分あり)

#### 【翔陽中の校風について】

- ・ おだやかな印象はあるが、これがという形になるには時間を要する。外部から「こういう学校だね」と言われるにも時間がかかる。
- ・ “あたりまえを全力で”という学校の目標を意識して生徒たちは学校生活を送っている。前向きに協力し合って頑張ろうという雰囲気はある。
- ・ 街に近いから、母子家庭が多いから、また十勝学園の生徒が多いからといったことによる影響はない。受け止める側の問題と思う。

#### 【教職員について】

- ・ 統合によってどうだというものは無い。1 年目より 2 年目、2 年目より 3 年目と、お互いに両校の良いところをすり合わせていく過程での過渡期という認識。

#### 【学校規模】

- ・ 生徒も多くなり、それぞれの教員が生徒ひとり一人を把握するのは困難ではある。
- ・ 体育祭、各種行事などの多様性がある。

#### 【PTA】

- ・ 現在は、出身小学校ベースに役員選出をお願いしている。
- ・ 役員レベルでの協議を見る限りでは、問題なくやっていると思う。
- ・ 以前は PTA 活動も三中、六中と良い意味での競い合いがあった。現状、活性化とおだやかさの綱引き。

#### 【部活】

- ・ 人数の多い部活もあり、顧問においては、選手起用など頭を悩ませていると思う。

#### 【その他】

- ・ 三中卒の OB からは、統合後に数回過去の問い合わせがあったが、六中卒の OB からは、これまで 1 回も問い合わせ等が来たことがない。(学校がある、ないに關係するのかわ?)
- ・ 統合当時、校舎を使用しながらの改築は、移動や騒音、ほこりなど非常に大変だった。
- ・ 子どもたちの頑張りが非常に大きかったと思う。初年度の子どもたちの様子が、統合の良し悪しを判断する大きな要因になるのだろうと感じた。
- ・ 初年度の子どもたちの頑張りの要因として、①統合以前からの生徒間の交流、②新しい制服・ジャージに袖を通すなどがあり、これらが、自ら良い学校にしようという強い気持ちに繋がり、それに対して、PTA・教職員が逆に引っ張られた感もあった。

	質問事項	回答
1	学校運営の中で、”統合校”として意識することがありますか。あれば、どんな場面で意識したのか教えてください。	・ 体育祭や文化祭など学校行事の計画を立てる際に、今後、伝統種目や伝統的な内容となることを見据えて取り組む必要があること。
2	生徒から、旧三中・旧六中の隔たりを感じましたか。感じた場合は、その内容と対応を教えてください。	・ 特にありません。
3	【3期生のみ】 翔陽中3期生として、生徒がどのような取組みをなされたか、事例で紹介してください。（1・2期生との違いや頑張りなど）	・ 過去2年間と比べて特別な取組はしていないが、1期生・2期生の先輩達が苦勞して築き上げてきた校風を継承しようとする意識は高い。
4	部活動において、統合の効果はありましたか。また、マイナス面はありましたか。	○部の数が増えたので、生徒の選択肢が広がった。 ○教職員数増加により、多くの部が複数体制で指導することができる。 ◇部員数が増えたことで、一人当たりの出場機会が減った部もある。
5	職務において、統合による効果・成果をどのように感じましたか。	○教職員数が増えたので、業務の分担・効率化が図られた。 ○養護教諭が2名体制になり、生徒の健康や心の悩みなどにきめ細かく対応することができた。
6	職務において、統合によるマイナス面をどのように感じましたか。	◇生徒数が増えたことで、全教職員が全校生徒の実態をきめ細かく把握することが難しくなった。
7	P T Aに旧三中・旧六中の隔たりや、統合校に関しての不満などの意見はありましたか。その内容と対処について教えてください。	◇旧三中・旧六中の卒業生を持つ保護者は、それぞれのよかった点（きめ細やかさ、落ち着き、一体感など）を思い出話的に話されることはあったが、翔陽の取組を云々する内容ではないため傾聴に努めた。
8	生徒が増え、大規模校としての運営上の課題があれば教えてください。	◇全校生徒の実態をきめ細かく把握することが難しくなった。 ◇家庭や生徒のニーズが多様化しており、対応に苦慮することがある。
9	通学距離や駐車場不足に対する不満はどうなりましたか。	◇車で来校できないことへの苦情は多い。特に大きな行事の際に柏小と保健福祉センターの駐車場を借用する際に疑問の声が上がる。朝夕や部活動の送迎時には、年間を通じて地域住民から苦情が寄せられている。
10	統合から3年が経過しようとしています。統合による効果・弊害、将来の統合に向けての改善点などご意見を伺いたい。	◇施設・設備で改善されない点が多く、不満が残る。 （体育館の結露、磁石使用不可の黒板、廊下の突起物、樹木など）

## 翔陽中学校 統合に関する学校へのヒアリングについて

日 時 ～ 平成 25 年 2 月 26 日 (火)

### ● 聞き取り項目及び学校側からの回答は別紙のとおり

### ● その他当日聞き取りの内容は以下のとおり（別紙回答と重複する部分あり）

#### 【教員同士について】

- ・ 1年目は両校が一緒になるということで難しい面もあったが、2年目の今年はそれを特に意識することはなかった。

#### 【生徒同士について】

- ・ 休み時間の過ごし方や授業内容などで違いがあるといった生徒同士の会話があったと聞いているが、2年目の今年は特に意識することはなかった。

#### 【クラブ活動】

- ・ 競争の面ではプラス面が多いと感じる。
- ・ 学年によっては 20 名以上在籍するクラブもあり、出場できない生徒も出てきているが、現状は競争の方にはたらいっている。

#### 【PTA】

- ・ 住んでいる近所同士で親の仲が良いのはどこの学校での一緒のこと。
- ・ 何かあった時に統合のことを蒸し返すようなことの多少見受けられた。

#### 【その他】

- ・ 親が自家用車で、生徒を送迎することが多いように感じている。

#### 【統合準備委員会】

- ・ 統合準備委員会において、当該校の校長が座長をすることは非常に心労があったと思う。
- ・ 結局、自分たちでやらなければならないことが多かった。もう少し、PTAや地域の人を活用することができたのではないかと思う。

#### 【全般的】

- ・ 子どもたちでの課題はあまりないと思う。
- ・ いじめなどに対することを意識して、学校内で特に何か変えたことはない。

【3年生】

	質問事項	回答
1	生徒から、旧3中・旧6中の隔たりを感じましたか。感じた場合は、その内容と対応について教えてください。	生徒間に特段の隔たりを感じることはなかった。
2	生徒から旧校との違い等の不満や意見を耳にしましたか。あればその内容や対処について教えてください。	統合直後は、行事の内容や校則について若干質問が寄せられたが、「新校として考えた」旨、回答内容を共通し、繰り返し説明することにより、生徒の納得を得た。
3	翔陽中2期生として、生徒がどのような取組みをなされたか、事例で紹介してください。（1期生との違いや2期生の頑張りなど）	①体育祭に生徒が主体的に取り組むことを意図した種目を設定し、3年生のリーダーシップにより見事な学校集団演技を披露することができた。 ②現在は、卒業を前に、自分たちの思い出を残し、保護者や地域の皆様に感謝の気持ちを伝え、後輩にバトンを渡すための卒業制作に取り組んでいる。
4	クラブ活動において統合の効果はありましたか。また、統合によるマイナス面があれば教えてください。	競争相手が増えることにより、もっと上手になりたいなど意欲の向上が見られた。一方、参加人数に制限がある体系では、出場できない生徒が増えた。
5	職務において、統合による効果、成果をどのように感じましたか。	教職員の数が増えたことにより、学校経営について多様な考え方を持ちより、よりよい学校づくりに向けて論議を深めることができるようになった。
6	職務において統合によるマイナス面をどのように感じましたか。	選択肢が増えたために、イメージの共有など、情報連携と行動連携に向けた共通理解を図るために、しっかりと話し合う時間が必要であると感じてる。
7	P T Aに旧3中、旧6中の隔たりを未だ感じることはありましたか。感じた場合は、その内容と対処について教えてください。	統合当初はP T Aの諸会議で時折隔たりを感じることもあったが、時間の経過とともに教職員や生徒と同様に「新校のために」という思いが前面に出されるようになった。
8	通学距離や駐車場不足に対する不満はどうなりましたか。	自転車通学の生徒は、雨天時や冬季の徒歩通学が大変である。駐車場不足については、保護者や周辺の住民から、依然として改善の要望が行事の度に多く寄せられている。
9	全体を通して統合による効果、弊害、将来の統合に向けての改善などご意見をいただきたい。	統合前に閉校する両校の備品などを選別したが、実際には統合後に判断した方がよい物もあった。生徒数が増えたことで。生徒理解に想像以上に時間が必要である。

【2年生】

1	統合校である意識が感じられますか。	第1期生（統合後初めての入学生）という意識を持ち、何事にも意欲的に取り組んでいる。自分たちでよき伝統を築いていこうという前向きな姿勢も見られている。
2	通学距離や駐車場不足に対する不満はありましたか。あった場合、どのように対処されましたか。	家庭訪問や懇談会等において、度々改善の要望が寄せられるので、通信等で現状を繰り返しお伝えすると共に、御協力をお願いしている。
3	P T Aから統合に関しての不満や意見があれば教えてください。	特にありません。
4	全体を通して統合による効果、弊害、将来の統合に向けての改善点などご意見をいただきたい。	ごく僅かではあるが、兄弟がいる家庭ほど統合や出身小学校についての思いや意識を強く表わす保護者もいるため、家庭訪問や懇談会の際に配慮している。